

令和5年度

# 人材循環型モデル創出業務

## 実施報告書

白川ワークドット協同組合  
令和6年3月8日

# 実施内容

- 1.オンラインコミュニティ事業
- 2.インターンシップ事業
- 3.企業向けワークショップ事業
- 4.ふるさとワーキングホリデー事業

# 実施内容

## 1.オンラインコミュニティ事業

業務の内容	実施事項（概要）
目標参加者 学生20名、社会人10名	<ul style="list-style-type: none"><li>• コミュニティ登録者は50名</li><li>• 所属はワーホリ、インターンシップ、企業WS参加者等、</li></ul>
まちゼミ（探求室）の企画運営 目標回数（交流会2、ゲスト4）	<ul style="list-style-type: none"><li>• 町民ゲスト会、企業交流会、ゲーム交流会を企画運営。詳細は次ページ</li><li>• 交流会3、ゲスト1（集合イベント1回開催のほか、ふるさと祭り企画の運営を実施）</li></ul>
人材コミュニティ活動の熟考 PRを行うイベント企画運営	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今年度は、頻度や時期を工夫し、半期に一度の交流会を継続実施。また、中学生からの流入を意図したゲーム交流会の実施。町内外の若者を中心にPR活動を実施。今後は、小さなイベントを複数回行うことで多様な属性の方々を巻き込めるよう工夫していく。</li></ul>
参加者の自主性による持続可能なコミュニティ運営	<ul style="list-style-type: none"><li>• 持続可能なコミュニティ運営には、キーマンとなる人材の育成が必要となってくるが、まずその人材の発掘から始めなければならない。そのための中学生向けイベントを行っており、参加してくれている中学生が高校生や大学生になった時に初めて自立したコミュニティが出来るを考える。今は、そのための基礎づくりの段階。</li></ul>
アンケート調査と取組の改善	<ul style="list-style-type: none"><li>• ゲスト会及び交流会については各交流会報告に記載あり。</li><li>• ゲーム交流会については、現在プレ開催としており、本番の実施をしていないため、アンケートを実施していない。しかし、関係性の構築ができていく（コミュニティメンバーの）ため、適宜、意見を貰いながら、改良を行っている。また、リピート率は100%である。</li></ul>
成人式、ふるさと会、SNSやブログ等での事業PR	<ul style="list-style-type: none"><li>• チラシ（Vカレッジ）の作成300部</li><li>• 成人式、ふるさと会、町行事（ふるさと祭り）でのチラシ配布</li><li>• WEBでのPR（コミュニティ管理含む）</li></ul>
ふるさと祭り企画・広報	<ul style="list-style-type: none"><li>• チラシ（Vカレッジ）の配布、企業WS企画のアイデアソンイベントの実施。</li></ul>

# 実施内容

## 1.オンラインコミュニティ事業

実施名	しらかわVかれっじ ゲスト回
日程	令和5年5月30日（火）19:00～21:00
開催場所	zoom
参加者	ゲスト：白川町教育委員会 小島様 参加者：9名 事務局：2名 （町出身・町外在住者3名、町外出身・町在住者6名 町外出身・町外在住者2名）
内容	グループワーク『魅力ある学校とは』
イベントの様子	<p>・インプット 『魅力ある学校』について、ネットで調べる。 それぞれの視点(生徒、保護者、学校・先生、地域)で考える。 ・アウトプット自分達が中学校を運営するなら、どのような内容にするか？</p> 

アンケート結果
参加満足度（ゲスト含む） 満足7名、やや満足3名
感想
<ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代の方同士でお話が出来て良かったです。</li><li>・参加してるみなさんが自分の考えをしっかりとっていらっやっって、私ももっと自分の考えを持てるようになりたいと思った。</li><li>・子どもの主体と個性を活かすためのソフト面とハード面をどう整備していくのか。お金も人もかかるだけに一筋縄ではいかないけど、たくさんの方がそう考えているとしたことが大きな収穫です。</li><li>・「学校」一つ取ってもいろんな要素があり、一概にこれをすればいいという答えもなく、それぞれの地域の特性や、そこにかかわる人によっても変わってくる。だからこそ、こうしていろいろな方が集まって話す機会があるのは意味のある素敵なことだと思います。また、私だけの経験からは出ない意見が聞けるのは面白いなと改めて感じました。</li><li>・地域と協同でつくる生徒主体の学校という共通の意見がありました。</li></ul>

# 実施内容

## 1.オンラインコミュニティ事業

実施名	しらかわVかれっじ 半期に一度の交流会
日程	令和5年10月30日 19:00~21:00
開催場所	Zoom
声掛け予定者	Vかれメンバー、ワーホリ1期生・2期生、若者グループ
内容	Vかれ活動の情報交換と実施提案交流

### アンケート結果

参加満足度  
満足10名（途中退席者2名）

### 感想

- ・はじめてお会いする人もいるけれど、みんな白川町が好きだという同じ思いをもっているのので、すぐに仲良くなれる。
- ・ワーキングホリデーに参加して、色んな人と出会うことの楽しさを知ったので、交流会にも参加してみた
- ・色んな経験をしている人が、たくさんいて、とても刺激になった
- ・半年に一度、みんなの近況が聞けるのが、とても楽しみ。参加出来る時は、参加したいと思っている。
- ・みんなで何かを企画して実行できればうれしい



# 実施内容

## 1.オンラインコミュニティ事業

実施名	しらかわVかれっじ オンラインゲーム交流会 1回目
日程	令和5年11月29日 13:00~15:00
開催場所	黒川マルケ・オンライン
声掛け予定者	大学生1名、黒中2年生1名、黒小2名
内容	町内中学生を巻き込む施策として、ワーホリ生が企画。 「マイクラフトを使って、みんなで理想の学校を作ろう！」 町内の建築関連の事業所を巻き込み、本格的な知識を取りいれて 作ることを検討している。 白中・黒中が合併する前に交流する機会としても、期待できる。 現段階で、両中学校に声掛けをしており、参加してくれそうな子 達がいる。まずは、少人数で始めてみる。

実施名	しらかわVかれっじ オンラインゲーム交流会 2回目
日程	令和6年1月31日 13:00~15:00
開催場所	白川ワークドット協同組合・オンライン
参加者	大学生1名、社会人3名、白中2年生1名、黒中2年生1名



# 実施内容

## 1.オンラインコミュニティ事業

実施名	ふるさと祭りでの広報活動
日程	令和5年10月29日
開催場所	三川ドーム
声掛け予定者	マイクラフトのイベント流入を狙う
内容	チラシ配布
結果	中学生1名の流入あり



実施名	成人式での広報活動
日程	令和6年1月
声掛け予定者	成人式参加者
内容	チラシ配布
結果	特に反応なし

考察	<p>オンラインコミュニティの目的は、交流機会の提供</p> <p>【町外在住】継続して町に関わり続ける。関係人口の入り口としてライトな関わり方で、町を知ることが出来る。</p> <p>【町内在住】新しい刺激を受ける。改めて町のことを知る。町内の繋がりをつくる。</p> <p>オンラインコミュニティを維持・発展させる方法として、①継続して参加してもらうためのイベント②知ってもらうためのイベントがあると考え。今年度は、昨年假説を立てた『半年に1度の交流会』を実施。同じ参加者が毎回みんなの顔を見るのを楽しみに参加している様子を見ると①を達成できていると考える。また、②としては、本コミュニティに中学生の内から巻き込んでいきたいという思いから、町内中学生が参加しやすいゲームイベントを実施。町内2校の中学生と町外の大学生と一緒に交流できており、目的が達成されていると考える。</p>
今後に向けての仮説	<p>対象者が幅広い為、大きなイベントを1つ行うよりも、様々な種類の小さなイベントを複数回行っていくことが有効だと考える。また、その小さなイベント（コミュニティ）が、時には重なり協働するような機会もつくっていけるとよい。また、オンラインコミュニティ事業となっているが、ゲームイベントはハイブリット開催となっており、来年度以降は、オンラインに限らず、必要に応じてリアルイベントも実施し、目的を達成できると良い。</p>

# 実施内容

## 1.オンラインコミュニティ事業（補足説明）

業務の内容	実施事項（概要）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ Vカレッジとは。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 白川町出身者、移住者、またはインターンシップ、ワーキングホリデー、視察など、白川町の事業になんらか参加したことがある方々の中で、白川町に関わり続けたいと思う人々が所属するコミュニティ。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関係人口創出に繋がる考え方。</li><li>・ 町外のメンバーが関係人口になり得る人間であり、交流を深めていくことで関係人口創出に繋がる、ということでしょうか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Vかれっじに参加しているメンバーは、白川町に愛着を持っている。白川町が好きな方は、周りの方に、白川町の魅力を伝えて下さいます。それにより白川町に関心を持つ方が増えます。また、白川町が好きだという共通の興味関心を持った方が一堂に会すと、相乗効果で、白川町好きが増します。継続的に交流する機会を持つことは、日常で薄れていく感情を思い出させてくれる場にもなるため必要です。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ オンラインゲーム交流会の目的、意義</li><li>・ 関係人口創出に繋がる考え方。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Vかれっじは、白川町出身の方に白川町と繋がり続けて頂く為の、1つの手段です。高校進学と共に町外に出てしまう中学生がVかれっじに入っておくことで、町外に出ても連絡が取れる状態になり、就職や転職タイミングで町を思い出し、相談して頂けるきっかけとなります。また、町外の方との交流により、客観的に町を見ることができ、町の良さにも気がつきやすくなります。</li><li>・ オンラインゲーム交流会は、中学生にVかれっじに入ってもらったための手段の1つです。副次的に、統合前に2校の中学生の交流が出来る、理想の学校を作ってみることが出来る、また建築業者とのタイアップで町の産業を知るなどという効果もあります。</li><li>・ 町のことが好きな出身者が増えれば、町外に出た時に周りの方に、町の良さを伝えられることになり、結果、町に興味を持って下さる方が増える＝関係人口の創出に繋がります。</li></ul>

# 実施内容

## 2. インターンシップ事業

業務の内容	実施事項（概要）
中学生向け職業体験 参加者5名以上 職業講話2回、WS1回	<ul style="list-style-type: none"><li>参加者38名、参加企業16社</li><li>全体職業講話1回、企業別講話16か所各1回</li><li>ワークショップ 企業別実施2か所各1回</li></ul>
中学生への希望職種調査 町内企業募集	<ul style="list-style-type: none"><li>希望職種調査は、別紙報告書に記載の通り。町内企業募集は、企業ワークショップの1回目に説明会を実施しており、町内企業には説明会を実施する旨、事前に連絡をしている</li></ul>
アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"><li>中学生向け職業講話アンケート結果のとおり。</li></ul>
Vカレッジによる事後フォロー	<ul style="list-style-type: none"><li>ゲーム交流イベントの参加につながっている。</li></ul>
高校生向け職業体験 参加者6名以上、企業9社以上	<ul style="list-style-type: none"><li>参加者1名、企業1社（協議の結果、中学生向けインターンシップの業務量と調整し実施とした）</li><li>募集先高校 1校（生徒に直接アプローチができないため、実施方法を検討した）</li></ul>
町内企業説明会の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>町内企業募集は、企業WS1回目に説明会を実施。</li></ul>
安全教育・キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"><li>7/3実施。</li></ul>
保険加入	<ul style="list-style-type: none"><li>対象高校が加入済み</li></ul>
Vカレッジによる事後フォロー	<ul style="list-style-type: none"><li>参加案内を行った。</li></ul>
ワークショップの実施1回	<ul style="list-style-type: none"><li>7/3実施。</li></ul>
広報・周知方法について	<ul style="list-style-type: none"><li>学生に対しては、学校訪問。企業に対しては、説明会案内の送付</li></ul>
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"><li>学校から職業体験、インターンシップの依頼を受け、町からの委託で業務を実施した。</li></ul>

# 実施内容

## 2.インターンシップ事業

### 2-1.中学生向け職業体験

実施名	中学生向け職業講話
日程	令和5年6月29日(木) 6限
開催場所	白川中学校 音楽室
参加者	白川中学校2年生 37名
内容	白川町にある仕事を知ってもらう
イベントの様子	白川町内企業向けワークショップで、各企業に企業図鑑(別添)を作成してもらい配布した。 

### 中学生向け職業講話アンケート結果

Q今回のセミナーの満足度を5段階評価するとどれですか？
「5」35名 「4」2名
Q面白かった内容を教えてください。(複数可)
「山～建築業界の話」26名 「建設業の話」29名 「白川茶の話」27名 「農業の多様性の話」26名 「製造業の話」20名 「ワークドットの話」22名 「その他」働き方、全部
Q白川町の地域産業や働く人への印象は話を聞く前と聞いた後で、どう変化しましたか？
<ul style="list-style-type: none"><li>・白川町は思ったより楽しんでいた</li><li>・思った以上に仕事が多くて白川町に興味を持った</li><li>・面白い会社が多かった</li><li>・会社によっていろいろ工夫されてるなと思った</li><li>・町を出て仕事をしていると思ったが、林業などをしている人が多くてびっくりしました</li><li>・いろいろな人が白川町で活躍していると分かった</li><li>・白川ワークドットという仕事に興味を持った</li><li>・林業にすごく興味がわいた。白川町のお茶についてもっと知りたい</li></ul>
Qご感想や質問があればご自由にお書きください。
<ul style="list-style-type: none"><li>・白川町に興味を持った</li><li>・未来の自分について考えるいい時間だった</li><li>・白川町の印象がとてよくなった</li><li>・このようなセミナーはあまりなかったのでとても面白かった</li><li>・白川町にもっと協力したいと思った</li><li>・白川町についてもっと考えたいと思った</li><li>・もっと白川町の仕事について知りたいと思った</li><li>・白川茶に興味を持った</li><li>・白川町にいてよかったと思った</li><li>・ただの田舎だと思っていたが、今回の話を聞いて白川町が好きになった</li><li>・白川町の仕事を知れて面白かった</li><li>・白川町の魅力をより知ることができた</li><li>・今回の話を聞いて白川町は色々な人が自然と共に生きているなと思った</li><li>・移住している人が多くて驚いた</li><li>・自分の将来が少し見えてきたなと思った</li><li>・ピュアチャーレの茶工房へ職業体験に行くことはできますか</li><li>・ワークドットについてさらに知りたい</li></ul>



# 実施内容

## 2.インターンシップ事業

### 2-2.高校生向けインターンシップ

実施名	町内企業 3 dayインターンシップ研修
日程	令和5年7月3日(月)
開催場所	白川ワークドット協同組合事務所
参加者	可児工業 電気システム科 2年生 白川町佐見出身・在住
内容	興味関心分野を聞き、町内企業とのマッチングを行う(WS実施) 安全教育とキャリア教育を実施
様子	7月19日(水)16:30~ 安田建設ドローン練習場にて、事前打ち合わせに同席&送迎

実施名	町内企業 3 dayインターンシップ
日程	令和5年7月24日(月)~26日(水)
開催場所	安田建設
参加者	可児工業 電気システム科 2年生
内容	土木建設業や再エネ事業、ICTコンサルやドローン事業等の現場見学やミーティング等に参加して、実際の業務を体験した。
様子	

# 実施内容

## 2.インターンシップ事業

### 2-1.中学生向け職業体験

<b>考察</b>	本事業の目的は、町出身の学生が『町で働く』ことを、選択肢の1つとして持てるようにすること。進路選択をリアルに考え始める時期である中学2年生を対象として行なっている。『町を知る』『仕事を知る』を切り口に、業種、職種、働き方、町の特性、色んな観点から町を見せ、興味関心に引かかる範囲を広くする。また、自分達の知っている情報以外のことを知ることで、町の価値を上げ、また、客観的に町を見ることで、町の良さに気が付く。それらにより、シビックプライドの醸成を行い、目的の達成へと繋げていく。また今年、企業図鑑を作成し、家に帰ってから町の仕事に触れてもらう機会を作った。
<b>今後に向けての仮説</b>	関わりシロをこちらから提示すると、参加する学生も一定数いるので、職業体験の次のステップとして、学校外の活動に繋げていけると良い。『お茶摘みのお手伝い』『オンラインゲームイベント』は、既に企画しているところだが、中学生も参加できる企業への1dayインターンシップや、お手伝いプログラムなども企画できると良い。

### 2-2.高校生向けインターンシップ

<b>考察</b>	本事業の目的は、町出身の学生が『町で働く』ことを、選択肢の1つとして持てるようにすること。中学2年生で知識として知り得たものを、実際に『働く』というリアルな経験を通して、より具体的に働くイメージを持つ。町外の高校に通い、より多くの選択肢を得た中でも、白川町で働くことを選択肢として持ち続けてもらう為には、インパクトのあるリアルな体験をしてもらうことが大切だと考える。
<b>今後に向けての仮説</b>	インターンシップがある高校が少ない上に、直接学生にこちらからアプローチすることが難しいので、情報が届かないことが多い。また、中学生向け職業体験の際に、高校生になってインターンシップの授業があったら、白川町の企業も選べることは伝えているが、希は薄い。しかし、プライベートな時間を使って自らインターンシップに行く人は少ないので、学校の授業で来る打率を上げることが必須。できるだけ仕込みは行う。

# 実施内容

## 2. インターンシップ事業（補足説明）

業務の内容	実施事項(概要)
<ul style="list-style-type: none"><li>中学生職業体験から関係人口創出につながる考え方</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>本町には高校と大学がないため、卒業後は町外へ学びに行くことになる。本町を転出してしまっても関係性を中学生のうちから作り上げることで故郷に対して行動を起こしてくれる人材を育成することになる。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>高校生インターンシップから関係人口創出につながる考え方</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>町で働く大人に出会うことで、町の良さに気が付くことができる。町外に出た時に周りの方に、町の良さを伝えてくれることになり、結果、町に興味を持って下さる方が増える＝関係人口の創出に繋がる</li></ul>

# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

業務の内容	実施事項（概要）
①採用目的ワークショップ 目標参加企業9社、2回開催	<ul style="list-style-type: none"><li>魅力PRワークショップ（5/29）参加企業7社</li><li>町内出身者へのPRワークショップ（7/6）参加企業6社</li></ul>
②交流型ワークショップ 目標参加企業10社、1回開催	<ul style="list-style-type: none"><li>ワーホリ生×町内企業交流会 参加企業3社、ワーホリ生5名</li><li>町内企業交流ワークショップ（10/2）参加企業4社</li></ul>
③フォローアップワークショップ 目標参加企業10社、1回開催	<ul style="list-style-type: none"><li>町内企業交流ワークショップ（2/6）参加企業4社</li><li>参加企業が①②③と下回ったが、交流型WS回数を増やしてのべ24社の参加があり合格とした。</li></ul>
広報、PR活動等	<ul style="list-style-type: none"><li>10/29ふるさと祭りにオンラインコミュニティと企業WSとのPRブースをつくり、企業のアイデアソンイベントを企画運営した。</li></ul>
ワークショップの成果	<ul style="list-style-type: none"><li>参加者の感想や提案から、町内外の若者をターゲットとしたSNSの活用や、起業や面白いアイデアを提案募集して買い取るといった奇抜なアイデアも出され、実際にふるさと祭りでのPRブースの出展など実行に移され、ワークショップの手ごたえを感じられた。こうした取り組みの延長線にワーキングホリデーや職業体験、インターンシップなど交流の機会が生まれ、継続的な若者との関わりを増やしていくことにつながる。</li></ul>
企業WSが関係人口創出につながる考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>町外の若者との関係性を作るには受け入れ先のスキルアップも必要。当事業は入口対策（ワーホリ・インターンシップ）と受入対策（企業WS）と継続性対策（オンラインコミュニティ）から関係人口の創出と深化を図るもの。</li></ul>

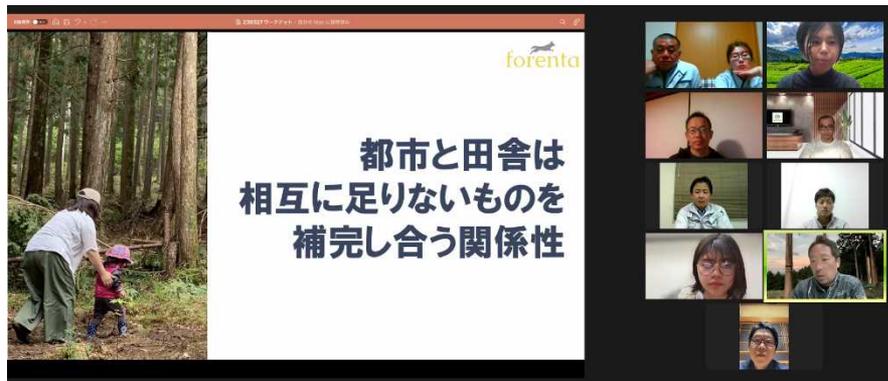
# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

### 3-1.採用目的インターンシップ

実施名	魅力PRワークショップ
日程	令和5年5月29日(月) 19:00~21:00
開催場所	zoom
参加者	白川町内企業7社 安田建設株式会社、大脇建設株式会社 株式会社ニシノ、丸ス産業株式会社 有限会社和泉産業、藤井電気工業株式会社 鈴木建築株式会社
内容	1.オープニング 2.インターン、職業体験についての説明 3.【講話】自社の魅力とは？ 株式会社山共 代表取締役 田口房国氏 4.企業紹介シート記入 5.意見交流の時間 6.クロージング、アンケート記入

本日のワークショップの満足度を教えてください。
「満足」5名 「やや満足」2名
特に興味を持った内容をお選びください。(複数可)
「可児工業のインターンシップ」3名 「企業紹介シートの作成」3名、「意見交換」3名 「白川中学校の職業体験」3名、「窓口の1本化について」1名 「【講話】田口房国氏「自社の魅力とは？」」3名
今日の感想を教えてください。
<ul style="list-style-type: none"><li>・有意義な時間ありがとうございました。</li><li>・異業種の方の意見や考え方を聞いて、とても参考になりました。</li><li>・田口房国社長の熱意あるお話に感動しました。</li><li>・他社との意見が参考になりました。ありがとうございました。</li><li>・違った業種の方々の話が聞いて良かったです。</li><li>・途中参加と先に出てしまい申し訳ありませんでした。</li></ul> 白川町という田舎を視点を変えて見る事で採用やビジネスに活かせるヒントが見れた気がします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・他の企業様のリアルな話が聞ける良い機会となりました。</li></ul>



# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

### 3-1.採用目的ワークショップ

実施名	町内出身者に対してPRワークショップ
日程	令和5年7月6日(木) 19:00~21:00
開催場所	zoom
参加者	白川町内企業6社 安田建設株式会社、大脇建設(株) 丸ス産業(株)、藤井電気工業株式会社 株式会社ニシノ、株式会社とのぼた
内容	1.オープニング 2.白川町の現在地 3.個人ワーク 4.グループディスカッション 5.クロージング、アンケート記入  ワーク内容 ①戻ってきてもらうために、今、何ができるのか ②戻ってきてもらうきっかけをどう作るのか ③安心して戻ってきてもらえるには、何が必要か

<b>本日のワークショップの満足度を教えてください。</b>
「満足」6名
<b>今日のワークショップで感じたことをご記入ください。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・絶対企画やりましょう！企画だおれでもいいので、動きましょう。そして続ければそのうち勝手に形になります。</li><li>・前回に引き続き、皆さんからの意見やお話がとても楽しく、刺激になり、勉強になりました。</li><li>・子供たちが帰ってきてくれるように盛り上げたいと思います。</li><li>・筋肉踊るムキムキ職人の街面白かったです。是非名古屋で泊りで飲み会やりましょう！</li><li>・みんなで話をすればアイデアも浮かびますね</li><li>・白川町の仲間には入れた感じで、嬉しいです。末永く宜しくお願い致します。</li></ul>
<b>実際に取り組めると良いと思ったことがあれば、ご記入ください。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・職人の町、Twitter企画はやりましょう。すぐにできると思います。</li><li>・職人の町づくり、名古屋での集まり、うなぎ屋</li><li>・名古屋に集合しましょう ぜびぜび</li><li>・ツイッターで人集めイベント、若者が来てくれるようにやりたいですね。</li><li>・職人を育てる町にする。学校跡地の利用。</li><li>・マニアックな職人の町 白川町 with うなぎ</li></ul>

# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

### 3-2.交流型ワークショップ

実施名	ワーホリ生×町内企業交流会
日程	令和5年9月12日（火）19:00～21:00
開催場所	白川町移住交流サポートセンター
参加者	町内企業3社 ケイズワークス、佐伯農場、丸ス産業 ワーホリ参加者5名 事務局2名
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1、オープニング、全体での自己紹介</li><li>2、グループに分かれて雑談① テーマ「白川町の好きなところ」</li><li>3、グループに分かれて雑談② テーマ「これからやろうと思っていること」</li><li>4、クロージング</li></ol> <p>会話のスタートがしやすくなるよう一応テーマ設定したが、それに捉われず色々な話をしてもらえるよう心掛けた。</p>



# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

### 3-2.交流型ワークショップ（追加）

実施名	町内企業交流ワークショップ
日程	令和5年10月2日（月）19:00～21:00
開催場所	zoom
参加者	町内企業4社 大脇建設(株)、株式会社ニシノ 株式会社とのぼた、藤井電気工業株式会社
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1.オープニング</li><li>2.白川町の現在地</li><li>3.ディスカッション</li><li>4.クロージング、アンケート記入</li></ol> <p>前回の「町内出身者に対してPRワークショップ」で、自発的な意識醸成ができたので、追加で交流会を実施した。</p> <p>具体的に、ふるさと祭りで、「面白いビジネスアイデア」を募集し、面白いアイデアが出たら、企業がアイデアを買い取るという企画を実施することになった。</p>

本日のワークショップの満足度を教えてください。
「満足」1名 「やや満足」3名
今日のワークショップで感じたことをご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"><li>・面白いとは何かについて考えることが出来た。</li><li>・アイデアを出すのは難しいですね。</li><li>・楽しかった。ふるさと祭りがファーストステップですね</li><li>・面白い事とはを考えるきっかけとなった。</li></ul>
実際に取り組めると良いと思ったことがあれば、ご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"><li>・自分が面白いと思うことを出来たらいいなと思いました。</li><li>・白川のお祭りに企業ブースを出展する。</li><li>・ウナギ</li><li>・ふれあいセンターチョコザップ計画</li></ul>



# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

### 3-3.フォローアップワークショップ

実施名	町内企業交流ワークショップ
日程	令和6年2月6日(火) 19:00~21:00
開催場所	白川ワークドット協同組合事務所
参加者	町内企業4社 大脇建設(株)、株式会社ニシノ 株式会社とのぼた、有限会社マルキ建築
内容	1『自社に足りていないコト』を見つける 2満たすための打ち手を考える 3実行するための道筋を立てる
様子	はじめてのリアルな企業交流会。オンラインにはない、『対話』をしている感じが感じられ、運営としても、満足度の高さや手ごたえを感じられた。また、これまでのWSを踏まえ、『企業勉強会』という位置づけに変えてみた。運営が準備したものより、企業が主体的に動くことを意識した。お互いに課題を聞き合い、アドバイスしあったり、同じ課題を一緒に解決しようという動きも見られ、結束感も高まったように思う。

本日のワークショップの満足度を教えてください。
「満足」4名
今日のワークショップで感じたことをご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"><li>・各社それぞれの考えを聞く事ができ勉強になります</li><li>・初めてのリアル会議で、ワクワクしたし皆さんの悩みを聞いて凄く共感出来た</li><li>・色々有意義な話を聞くことが出来た</li></ul>
実際に取り組むと決めたこと。取り組みたいと思ったこと、ご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"><li>・会社と人が成長する為にコミュニケーションを工夫する</li><li>・共同勉強会や研修</li><li>・なりたい姿と今の現実を重ねて不足した所を埋める</li><li>・掃除の勉強</li></ul>



# 実施内容

## 3.企業向けワークショップ事業

考察	<p>本事業の目的は、白川町内企業の魅力化である。</p> <p>自社のビジョン・ミッション・バリューを持ち、目指すべきところと現実の間にある課題を把握し、打ち手を考え、実行してもらえるように、様々な仕掛けを行っている。中学生の職業講話で配布する企業紹介シートの作成では、言語化することで自社を客観的に見つめ直すことが出来る。大学生との交流では、魅力的に自社をあるいは自分のことを語れるかを実践する機会となる。企業間交流では、他の企業が行っていることを知り、自社に取り入れたり、他社との違い（自社の強み）を改めて認識する機会となる。また、企業が主体的に勉強会を実施することで満足度が上がる傾向にあることから、来年度から企業主体で進めていけるよう、今年度は試行錯誤と導入を行った。</p>
今後に向けての仮説	<p>企業主体の勉強会という位置づけで実施していくことで、より効果を高めていく。誰かが決めた内容を与えられるより、自分達で考えつかみ取っていくことで、参加姿勢が変わっていくし、身のつき方が違うと考える。事務局として、勉強会の運営のサポートを引き続き行うが、今までとは違うスタンスで関わっていきたいと考えている。一方で、主体的に動ける企業ばかりではないので、その他の企業についても勉強会とは違うプログラムで、サポートを行っていく必要がある。頻度は高くないが、この2種類のコミュニティが交流する機会も作っていきたい。そして、主体的に動ける企業を増やしていくことができれば、企業の魅力化に繋がると考えている。</p>

# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

業務の内容	実施事項（概要）
目標参加人数10名（のべ日数210日）	・ 14名（230日）
目標参加企業 10社	・ 10社（クオーレの里、藤田実農園、谷山広樹農園、佐伯農場、白川町移住交流サポートセンター、白川町農業開発、健康農園、そらいろ農園、白川ワークドット（協）、味噌工房）
参加者と受け入れ企業のマッチング	・ 参加者の希望をヒアリングし、日程や職種などから町内企業の雇用希望等を調査し、紹介及び受け入れサポートを実施した。
宿泊場所と交通手段の調整	・ 参加者の希望日程を聞き取り、受け入れ企業との位置関係を勘案して宿泊場所の確保を行った。 ・ 宿泊先と勤務先の交通手段として、参加者に対してレンタカーの手配や経路案内等を行った。
宿泊費用・交通費用の支払い	・ 参加者14名分の宿泊費用は、食費部分を除いた金額を直接宿泊先へ支払った。 ・ 交通費用は、建て替えた分は参加者へ、レンタカー代は業者へ、助成限度額内の費用を支払った。
労働保険、作業着等の必要経費	・ 受け入れ企業に対して費用の助成を案内し、必要に応じて助成した。
参加者、受け入れ企業マニュアル	・ 別冊添付のとおり
傷害保険の加入	・ 受託業者側で保険加入の手続きを行った。
交流イベントの企画、運営	・ ワークドット交流会、企業交流会を企画したほか、小農フェスボランティア、サポセンと協働BBQ、隠居山観音巡り、地域住民運営のピアガーデン等の地元催事へアテンドして地域住民との交流を図った。
参加者全員の体験記・感想のWeb上での公開	・ Noteに公開（ <a href="https://note.com/shirakawaworkdot/">https://note.com/shirakawaworkdot/</a> ）
広報	・ note、インスタ、総務省ポータルサイト、チラシ配布560部（配布先別紙）

# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

### 4-1.対象者

受入れ事業者	
事業者名	業種
藤田実	農業（トマトの収穫）
谷山広樹	農業（トマトの収穫）
佐伯農場	農業（トマトの収穫）
白川町農業開発	レストラン、茶工場
クオーレの里	宿泊業
そらいろ農園	飲食業
白川町移住交流サ ポートセンター	宿泊業、まちづくり関連
白川ワークドット 協同組合	まちづくり関連
健康農園	茶栽培
味噌女工房	味噌の製造

宿泊先	
事業者名	地域
佐伯農場	切井
白川町移住交流サ ポートセンター	三川
黒川Maruke	黒川
晴耕雨読とみだ	黒川
Sun荘空山	黒川

# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業 4-1.対象者

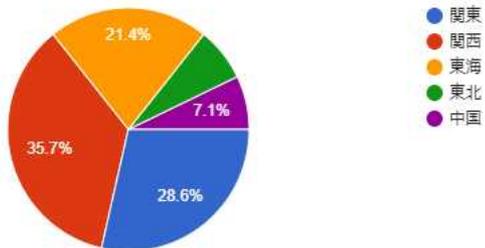
	氏名	所属	居住地	就業先	宿泊先	交通手段	日程	期間
1	A.N/M	社会人	大阪府	クオーレの里・藤田実	とみだ、サポセン、Sun荘、マルケ	レンタカー	7/17～8/16	1か月
2	K.K/M	社会人	千葉県	クオーレの里・谷山広樹	マルケ、Sun荘	レンタカー	8/12～8/25	2週間
3	M.I/W	社会人	兵庫県	藤田実	マルケ、Sun荘	レンタカー	8/21～9/3	2週間
4	S.S/W	大学2年	滋賀県	佐伯農場	マルケ、佐伯農場	レンタカー	8/28～9/10	2週間
5	Y.T/W	大学3年	奈良県	白川町移住交流サポートセンター	とみだ、Sun荘	レンタカー	9/3～9/16	2週間
6	K.S/M	大学4年	愛知県	白川町農業開発・健康農園	マルケ、Sun荘、サポセン	レンタカー	9/10～9/24	2週間
7	N.N/M	大学1年	愛知県	藤田実	マルケ、Sun荘	レンタカー	9/12～9/26	2週間
8	Y.K/M	大学3年	神奈川県	白川町農業開発・そらいろ農園	マルケ、サポセン	レンタカー	8/9～8/17 9/24～9/30	2週間
9	R.Y/M	大学2年	山形県	藤田実・白川ワークドット協同組合	サポセン、Sun荘、マルケ	レンタカー	8/24～9/23	1か月
10	Y.H/W	大学4年	山口県	藤田実	とみだ、Sun荘	レンタカー	9/6～9/16	2週間
11	J.Y/M	社会人	大阪府	白川町移住交流サポートセンター	サポセン、Sun荘	送迎	10/16～10/30	2週間
12	M.K/M	社会人	埼玉県	白川ワークドット協同組合	サポセン	送迎	1/25～2/7	2週間
13	S.I/W	社会人	神奈川	味噌女工房	マルケ、Sun荘、サポセン	送迎	2/9～2/22	2週間
14	A.I/W	大学院2年	静岡県	白川町移住交流サポートセンター	マルケ、Sun荘	送迎	2/21～3/5	2週間

# 実施内容

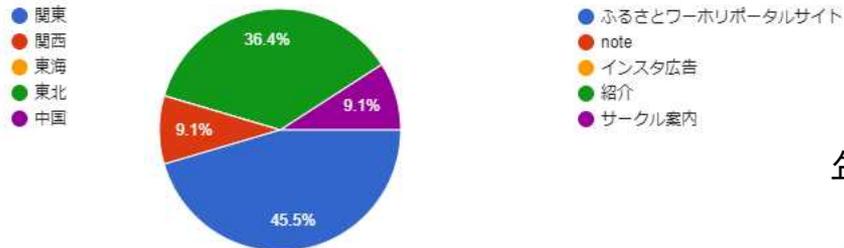
## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

### 4-1.対象者

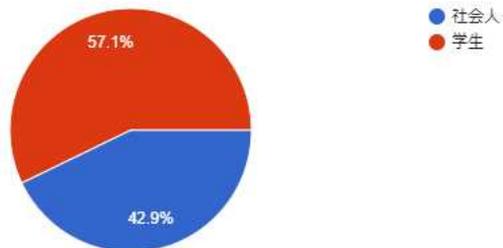
#### 居住地



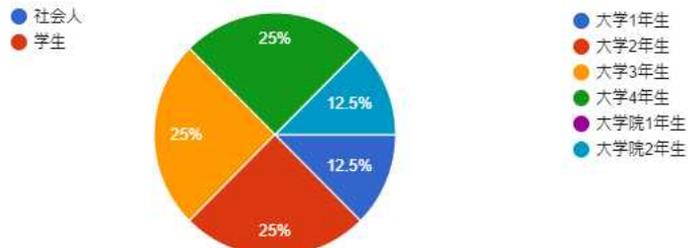
#### 流入経路



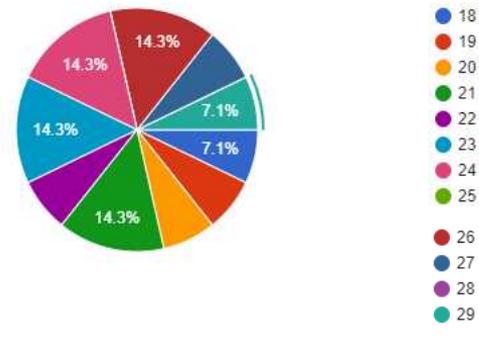
#### 属性



#### 学年



#### 年齢



# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

### 4-2.広報・募集の仕方

<p>note</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワーホリ概要</li><li>・宿泊先の紹介</li><li>・受入れ企業紹介</li><li>・説明会案内</li><li>・ワーホリ経験者のインタビュー</li><li>・ワーホリ参加者の体験日記</li></ul> <p>など、網羅的に情報を発信</p> 	<p>総務省ポータルサイト</p>	<p>説明会の告知等で、主に使用。右記のオンライン説明会では、10団体中訪問者数が1位になる場面もあった。</p>	
<p>インスタ</p>	<p>白川町ふるさとワーキングホリデーのアカウントを作成し運用している。現在、フォロワー数100名を突破。</p> <p>また、インスタ広告も作成し、説明会への流入に繋がった。</p> 	<p>チラシ</p>	<p>チラシを作成し、首都圏の大学のキャリアセンターを中心に送付をした。</p> <p>また、愛知県内の大学4校に、訪問をし、キャリアセンターの方と意見交換のお時間も頂き、直接チラシを渡した。</p>	

# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

### 4-4.交流イベントの実施

実施日	内容
8月31日	ワークドット交流会
9月9・10日	小農フェスポランテニア
9月12日	企業交流会
9月15日	サポセンと協働BBQ
9月20日	隠居山観音巡り



#### ▼ワークドット職員のアテンドで行ったこと

##### 【行ったところ】

- ・白川祭り
- ・黒川祭り
- ・おんぼいの湯
- ・白山神社
- ・クローチェ
- ・川
- ・暮らすファームsunpo  
(クラフトビールプレ・グランドオープンイベント、小農フェス交流会)

##### 【やったこと】

- ・川遊び
- ・ゲーム大会
- ・食事会
- ・映画鑑賞会
- ・BBQ

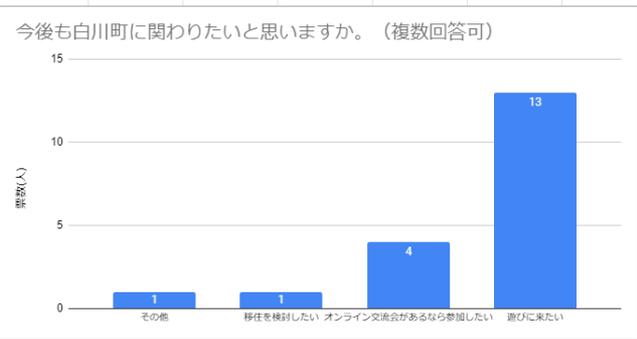
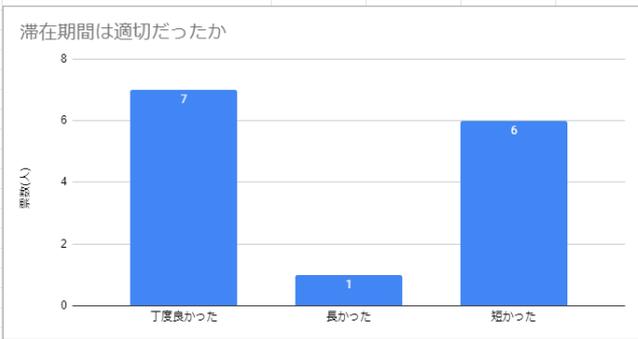
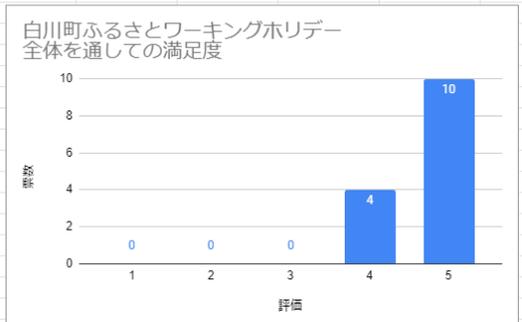
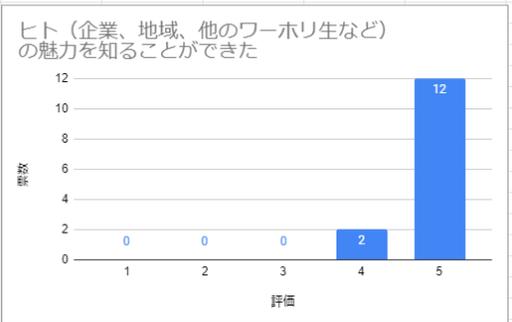
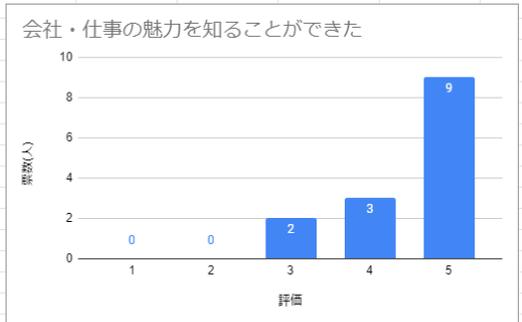
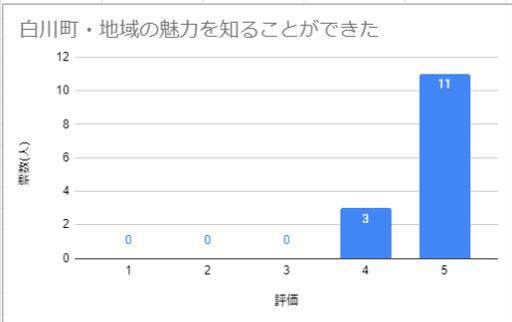
#### ▼宿泊先の方や就業先の方が行ってくださったこと

- ・歓送迎会
- ・観光地と一緒にいく

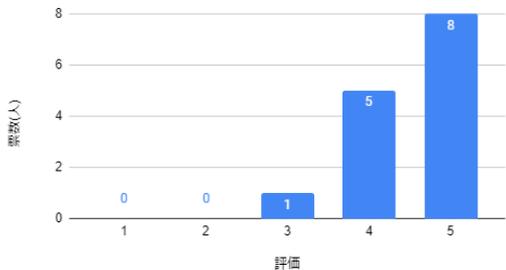
# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

### 4-5.参加者アンケート まとめ

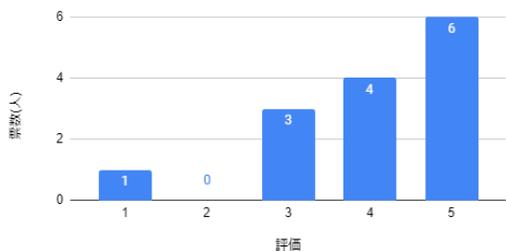


### 宿泊施設について



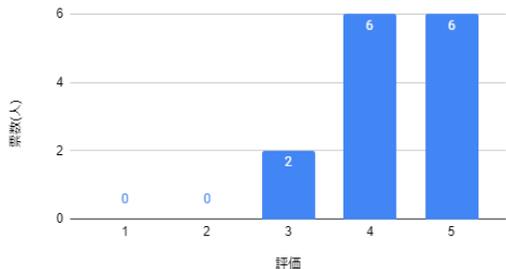
評価	理由	改善点(来年度に向けて)
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に宿泊施設の調味料が少なく、自炊が少ししにくかった。即屋は綺麗で住みやすかった。</li> <li>・全体的に滞在に不自由はなかったが、黒川マルゲは個室に扇風機等があれば良かったと思った</li> <li>・マルゲが個室にエアコンがなくて暑かった。もう少しハンガーを置いていただけたとより快適になると思った。</li> <li>・宿泊施設自体は大満足。ただ、マルゲが勤務地から遠く、最初に宿泊地と勤務地を聞いたときには驚いた運転初心者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善済み</li> <li>調味料は事務局の方で貸出を行う。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人で過ごすにはもったいないほど、広い古民家に住むことができた</li> <li>・どこの宿泊施設も広くてきれいで過ごしやすいかった。どの宿泊施設も過ごしやすく、色々な話ができて楽しかった。</li> <li>・古民家暮らしを経験できて嬉しかった。</li> <li>・お会いしたりお世話になったりしたみなさまはとてもあたたかく、新しい在所ができたような気持ちになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから</li> <li>面談時に交通のことを伝える。</li> <li>ワーホリマニュアルに交通情報を記載</li> </ul>

### 移動手段



評価	理由	改善点(来年度に向けて)
1	・免許を持っていないため買い物、通勤は不便だった	・これから車の運転ができるワーホリ生とどうしてもらう
3	・日中の移動は問題なかったが、夕方への時間帯はバスなどの公共交通が使えなかったので不便だった	・改善済み
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車が見つかなかったから</li> <li>・送迎があったのが嬉しかった</li> <li>・車がないおかげで、ローカルなおでかけしらかわを利用できたのもまたよかった。朝早くから送り迎えもしていた</li> </ul>	レンタカー3台用意
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタカーを貸してもらえたため</li> <li>・レンタカーやバス、事務局による送迎のおかげで困らなかった</li> <li>・故障者にも迅速に対応してもらえた</li> <li>・運転初心者には危ない道があるので一声ももらえると嬉しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから</li> <li>面談、マニュアルに交通情報を入れる</li> </ul>

### 連絡手段



評価	理由	改善点(来年度に向けて)
3	・困ったときに連絡できる人がいてとても心強かった。	・これから
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEですぐに開ける環境だったため。</li> <li>・LINEを通して迅速に対応してもらえて助かった。</li> <li>・休日の取り方など滞在前に事前に知りたい情報にやや不足があったように感じた。</li> <li>・lineでサポートしてもらえらる環境なのでそこは不安はありませんでした。ただ、下の方にも書きましたが、ワーホリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業先の情報(行き方、就業時間、業務内容など)を1週間前に共有しておく</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE等ですぐコミュニケーションが取れたため</li> <li>・困ったことが特になかったため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善済み</li> <li>マニュアルで休日の過ごし方をきさい</li> </ul>

# 実施内容

## 4.ふるさとワーキングホリデー 事業

<b>考察</b>	<p>本事業の目的は、町外出身者が、参加者から受入側になることを目指す。ステップとしては、①白川町を知る。②白川町のファンになる。③白川町のアンバサダーになる。④白川町に移住する。満足度は非常に高く②の関係人口になる方が、ほとんどだと考えている。②と③の間となる『お手伝い隊』という取り組みも始まり、自発的に関わってくれるところまではいかないが、積極的に関わってくれる層を増やしていく。本事業の実務的な課題は、移動手段。運営的な課題は、通年にわたり募集をかけるとランニングコストがかかる。改善すればもっと良くなる点としては、仕事の選択肢を増やすこと。</p>
<b>今後に向けての仮説</b>	<p>来年度は、ワーホリ生をアテンドするワーホリ生を雇用する。例えば、1か月滞在するワーホリ生に、2週間目以降は、事務局が雇用しアテンドに回ってもらう。または、今年度・昨年度のワーホリ生の中からアテンド係を雇用するなど、参加者から受入側になる設計を行う。そうすることで、更に地域への愛着をもってもらうことが出来る。移動に関しても免許を持ったアテンド係を雇用することで、解消される。また、来年度は、8月～9月の間で集中的に募集をする。民泊やゲストハウスが増えてきているため、宿泊施設の心配が減ったのも、まとめて受け入れられる大きな要因。まとめて受け入れることで、イベントも実施しやすくなる。仕事の選択肢を増やすことについては、より多くの町内企業に募集を掛けていく予定である。また、長期的な視点にはなるが、町に起業家を増やすことで種類を増やしていきたいと考える。</p>